

**[ 横浜市旭区民文化センター ]**  
**令和 2 年度事業計画書**  
**[ 横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 ]**

**施設の概要**

施設名	横浜市旭区民文化センター サンハート
所在地	横浜市旭区二俣川一丁目 3 番地
構造・規模	鉄骨コンクリート造 地下 1 階地上 6 階建の、地上 5 階および 6 階の一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,564 m <sup>2</sup>
開館日	平成 2 年 8 月 4 日

**指定管理者**

法人名	横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 代表構成団体 株式会社横浜メディアアド
代表団体所在地	横浜市神奈川区栄町 5 番地 1
代表団体代表者	代表取締役社長 三浦彰久
代表団体設立年月日	昭和 58 年 1 月 22 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで

**1 基本方針**

**(1) 基本的な方針**

**●地域文化創造をリードする ”Advanced Center” へ**

横浜市の区文第一号施設として、当事業体が管理運営する文化施設の手本となるよう、これまで以上に地域に根付き、市民一体となった活動を中心とする。他の文化施設に先立って、市民参加や地域活性を促し、次代に向けた子どもや若者たちの育成を行い、さらには区内の他文化施設との協力で、施設従事者のレベルアップも牽引。市民文化のレベル向上に寄与できる区文のリーダー的な位置づけを目指す。地域文化の牽引役となることで、地域の自慢、地域への愛着を増幅させられる施設となる。

**<”Advanced Center” 実現のための 3 つのミッション>**

**①幅広い市民からの共感獲得**

多くの市民へ良質な文化芸術の提供と、アウトリーチによる社会的包摂のさらなる推進。

**②若年層の利用拡大**

新規利用者の開拓と、世代にあったアプローチの積極的実施。

**③地域・他施設との積極的な連携**

連携事業による施設・地域が一体となった活性化と相互レベル向上に向けた取り組みの積極的実施。

## (2) 令和2年度の位置づけ

### 1. 事業の方針

令和元年度は、更なる新規顧客増加を図るため、WEB上の広報に力を入れ、外部委託による広告（タウンニュースWEB版（レアリア）、三井のリハウス、相鉄瓦版、あそびい）を使用すると共に、普段は仕事で来館することが出来ない働き世代方が会社帰りに立ち寄れるよう、夜間帯のコンサートを開催した。

令和2年度は、先を見越して、来館者の平均年齢を下げることを目標とし、若い世代にサンハートをアピールしていくため、WEB広報の範囲を拡大していくよう努め、更にアンケート結果を踏まえて、よりニーズに合ったイベントを開催していく。

### ① 交流創造型事業の進化展開

当事業体の大きな成果のひとつに、ワークショップなどの交流創造事業がある。市民の文化活動のきっかけづくりとして始まり、その後持続的な活動に発展させている市民が続出。さらには参加者同士の交流でコミュニティ活性化にも繋がっている。また、ワークショップ終了後は、発表の場にホールを利用する、ボランティアとして施設運営に係るといった好循環も見られる。今後は、そのような好循環を積極的に後押しする仕組みを今後も継続し、「人材育成活用事業」として進化・定着させていく。

- 演劇ワークショップ修了生  
チケットやプログラム配布を担当する「サポートスタッフ」として
- 絵本の読み聞かせ講座修了生  
定期的に「おはなし会」を主催し、また館外への派遣依頼にも応じる「読み聞かせボランティア」として

### ② 施設外への積極的な発信

ワークショップ・オーディション卒業者のアウトリーチでの活用や他施設事業への派遣等を含め、地域内外の活動や、文化イベント・芸術祭等への参加など、サンハートから積極的に外に向かう活動に取り組み、サンハートの発信力を強めていく。

- 既存の派遣先とのさらなるつながりと、新規開拓  
区内のコミュニティースペースや障がい者施設、保育園、学校などへ音楽家や読み聞かせボランティアを積極的に派遣。既に派遣経験のある施設のみならず、需要のある施設の新規開拓に引き続き注力していく。
- 派遣事業の積極的なPR  
ホームページ内の専門ページにて、派遣方法について具体的に発信。また、町の賑わいづくりの一助として、派遣事業の資料を地域公共施設等へ配布し、広く告知していく。
- 人材共有の仕組み作り  
絵本の読み聞かせボランティアの派遣について、定期的に受け入れを実施している施設とは「人材共有」の仕組みを確立し、よりスムーズな運営を実現させる。

### ③ 地域・他施設との新しい連携事業

自治会・商店街等との連携はもちろん、区内の他文化施設や、他区の区民文化センターとも連携を強めるなど、地域・他施設との連携を旭区民文化センターがリードして、地域の課題の共有やその解決を目指していく。

- 他文化施設・文化団体との連携

各 SNS を通して他文化施設・文化団体及び地域コミュニティの主催事業を相互リツイートし合い、互いの事業内容拡散を行う。

また、定期的にコーディネーター会議を実施し、事業を行う上での意見交換の場を設け、更には各施設の施設内見学を行うことで、自館の課題を見つけていくようとする。

- 他区民文化センターとの共催

類似した公演がある際は、双方連絡を取り合い、公演時にチラシの折り込みを行う。

## 2. 運営の方針

### ＜顧客満足度の高いサービスの提供＞

「施設を利用できる時間」、「情報提供」、「利用相談への対応」、「利用者支援」など、利用者・来場者の立場に立ったユーザビリティの高い施設運営を行い、顧客満足度を高める。

### ＜レベルの高い接遇・接客＞

安心と信頼の獲得のために、「職員の接遇・接客」に関する研修を行い、職員一人ひとりの“顔”が見える施設を目指す。

### ＜ニーズの把握の徹底と改善への反映＞

利用者・区民の声を収集する機会としてアンケートを定定期に実施すると共に、利用者懇話会・各種団体との合同連絡会への参加等を通して利用者と共に課題の抽出や改善に取り組む。

## 3. 管理の方針

### ＜二俣川駅北口共同ビル管理組合との一体管理＞

構成団体である相鉄企業(株)は二俣川駅北口共同ビルの管理組合事務業務と建物維持管理業務を併せて受託しているという利点を活かし、更なる効率的な管理を追求しコストパフォーマンスの高い維持管理を実現させる。

### ＜施設予防保全の実現＞

「今、施設や設備がどのような状態か」を踏まえて「今後施設や設備はどうなっていくか」について、将来を見据えた予防保全（中長期修繕計画・設備機器更新計画の策定・提案）に取り組む。

## 2 自主事業に関する計画 (事業フレーム等については【別紙1】に記載)

### (1) 文化事業の企画および実施について

事業カテゴリーは、大きく「鑑賞事業」と「機会提供事業」に2分、さらにそれぞれを分類し、合計5つのカテゴリーに分けて計画、実施していく。

鑑賞	[取組内容] <ul style="list-style-type: none"> <li>●一流の芸術家による個性的な公演事業</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> トップレベルのアーティストによるサンハートならではの個性的な公演を開催する。</p>	[達成指標] <p><input type="checkbox"/> アンサンブルオーディション最優秀賞受賞組によるクラシックコンサートを開催。若手ながら優れた演奏力・プレゼンテーション力を持つ演奏家への活躍の場を提供していく。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 大人向けを基本とし、鑑賞をじっくりと楽しんでいただく、特別感のあるコンテンツを取り入れる。</p>	<p><input type="checkbox"/> 開館30周年を記念し、今までとは異なるジャンルのコンサートやイベントを開催し、より幅広い年齢層のお客様に芸術鑑賞を楽しんでいただく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●普段着の芸術鑑賞</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 身近で気軽に芸術に触れられる機会を提供する。</p>	<p><input type="checkbox"/> ワンコインコンサートを含む0歳から鑑賞可能なコンサートを数回開催し、途中退出入ができる、授乳室や簡易的なおむつ替え台、ベビーカー置き場を設置する旨を提示することで、保護者に対して子供連れでのコンサートをもっと気軽に感じてもらえるようにしていく。</p>
	<p><input type="checkbox"/> どなたにでも楽しんでもらえるよう、低価格で良質なコンテンツを提供する。</p>	<p><input type="checkbox"/> クラシックにとらわれず、その時のニーズにあった曲目をコンサートに盛り込み、よりお客様の目線に合わせたイベントを作り上げるよう努力する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サンハートオリジナル</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> サンハートの育成・交流創造事業としてスタートしたワークショップやオーディション型の事業を展開する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 「演劇」では、ワークショップの域を超えて、昨年同様に有料公演とし、台本については、一般公募を試みる。また、今回も出演者の他に、大道具及び小道具、演出助手の舞台裏方要員も募集していく。</p>
機会提供事業	<p><input type="checkbox"/> サンハートの顔として、館内公演やアウトリーチ活動にも積極的に参加していく。</p>	<p><input type="checkbox"/> 「アンサンブルオーディション」入賞者を「サンハートレジデントアーティスト」として広く告知宣伝し、サンハートから館外への発信力を高めていく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●私たちのホール</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 市民が企画や運営に参加するコンテンツを設ける。</p>	<p><input type="checkbox"/> 区企画委員による企画案を起用し、映画に限らず、ニーズを押さえながらバラエティに富んだイベントを随時開催していく。</p>

<input type="checkbox"/> 事業参加をきっかけとした参加者同士の出会いや交流の場を創出する。	<input type="checkbox"/> 引き続き行う「読み聞かせ」では、定期的に勉強会を実施し、絵本の選書方法や童謡、手遊びなどの情報交換の場を設けることで、読み聞かせサポーター同士の交流や、意識向上を図る。
<input type="checkbox"/> 事業終了後も参加者が活動を継続できる仕組みを作る。	<input type="checkbox"/> 企画参加者としてサンハートに関わりを持った方々を中心に「サポートスタッフ」及び「読み聞かせサポーター」としてサンハートの運営へ携わってもらう仕組みを継続する。
<b>●シーズンイベント（その他）</b> <input type="checkbox"/> 空き施設の有効活用を目的とした企画や季節に合わせたイベントなど、幅広い市民に向けた多分野にまたがるコンテンツを設ける。	<input type="checkbox"/> 引き続きホールの時間貸し（ピアノ練習）や、作品展示が可能なレンタルスペース「ウェルカムギャラリー」の開催など、施設の有効活用と収入向上に務める他、七夕時期など季節に応じたコンサートを実施する。

## （2）地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進

[取組内容]	[達成指標]
<b>●</b> 地域内の対象施設へダイレクトアプローチを行い、隠れた需要の掘り起こしに務める。	<input type="checkbox"/> 地域を絞り、カフェやケアプラザ、地域公共施設へアウトリーチ活動の宣伝資料を配布し、「要請」を受けてから企画提案を行う「受注型」だったアウトリーチから、より積極的な「企画開発型」へと進化させ、新規アウトリーチ先を増やしていく。
<b>●</b> 未就学児（特に未就園児）とその親の活動の場としての需要をさらに広げ、地域コミュニティーの形成へと繋げていく。	<input type="checkbox"/> 未就学児や小学生の子を持つ親に、サンハートを情報収集の場として「認識」してもらえるよう、チラシ配架棚をより見やすいレイアウトにしたり、各種 SNS で未就学児向けの情報コンテンツを取り扱っていき、保護者が情報の渦に飲み込まれない土台作りを行う。また、保護者にヒアリングを行い、今地域で求められていることの情報収集し、事業に反映していく。

## （3）市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成及び文化的コモンズ形成の牽引

[取組内容]	[達成指標]
<b>●</b> ともに作る：「区民企画委員」の仕組みを継続する。	<input type="checkbox"/> 区民企画には、既存のイベントの他に新規企画の立ち上げを依頼し、新たな顧客層の開拓へとつなげていく。

●ともに進める：「運営サポーター」の仕組みを継続する。	<input type="checkbox"/> 職員が持つサービス介助士の資格を生かし、そのノウハウを「運営サポートスタッフ」に研修を通して学んでいただぐ他、マナー研修についても継続していく。
●ともに育つ：サンハート主催事業から派生した取り組みについて、地域文化に大きく寄与する活動を「共催事業」と位置付け、独自の運営サイクルを確立するまで積極的に支援する。	<input type="checkbox"/> アウトリーチに関して、自主事業担当者の立ち合いがなくとも開催施設に訪問できるようにしていく。
●ともにつながる：サンハートが地域のためにできることを、利用者・市民・地域・関連団体等でともに検討し、地域課題を解決するアイデアを事業化するプロジェクトを、サンハートが主体となって、地域をリードし推進する。	<input type="checkbox"/> 若い世代をサンハートの利用者として取り込んでいくため、未就学児向けのイベント時に、保護者に対してアンケートや意見交換の場を設け、館としての課題を浮き彫りにしていく。

### 3 施設の運営に関する計画

#### (1) 顧客満足度の向上について

[取組内容]	[達成指標]
●利用者サービスのさらなる向上に努め利用者ニーズに合わせたサービスを増やす。	<input type="checkbox"/> 施設利用者の発表会を広報支援し、直近のホール・諸室の空き状況を情報コーナーに発信する等により顧客満足度を向上させる。
●アンケートやヒアリング等から区民・利用者のニーズを的確に把握する。	<input type="checkbox"/> 各年実施の利用者アンケートや自主事業等の来館者アンケートをはじめ、ヒアリングの隨時実施と年1回利用者懇話会を開催して、ご意見・ご要望を的確に把握しサービス向上に努める。
●サンハート友の会を継続し、会員へのサービス向上と共に強力なサポーターとしての関係作りを図る。	<input type="checkbox"/> 改めてサンハート友の会の会員登録を行い、会員からの声を次年度の事業へ反映させる等施設のサポーター的存在として会の運営を行う。引き続きジョイナステラス各店舗と連携するなど会員特典の充実等を図り、会員数増をめざす。

(2) 的確な施設提供の実現について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●効率的且つ安定した施設の開館・運営を行う。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>□開館日数 345 日 休館日 20 日 年末年始 12月29日～1月3日 施設点検・消防設備点検 14日</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者アンケートや利用者懇話会からの声を基に満足度向上・利用促進を図る。</li> </ul>	<p>□様々な媒体を活用し、施設のPRを充実させ稼働率向上に努める。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設利用者へ専門的な利用方法等効果的なアドバイスを行う。</li> </ul>	<p>□舞台技術を含め、専門性をもった職員が常駐して、利用者からの相談・下見・利用打合せをはじめ、トラブル等緊急時にも迅速に対応する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●周辺施設と連携して地域全体の賑わい作りに貢献する。</li> </ul>	<p>□二俣川ライフ、ジョイナステラス、二俣川駅周辺商店街、二俣川駅、並びに相鉄線駅との連携事業を展開していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設を有効活用し、施設の魅力作り・活性化を図る。</li> </ul>	<p>□ワンコインコンサートを引き続き実施するとともに、施設の有効活用を図る。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者へ施設のホール・諸室の空き情報をリアルタイムで広く発信する。</li> </ul>	<p>□予約システムで閲覧できない、直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き情報を更新し、施設内に発信する。</p>

(3) 的確な広報の展開について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域・区民の文化芸術情報発信拠点としての役割を担う。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>□情報コーナーでは、文化芸術資料として、雑誌・図書・情報誌を設置するほか、類似の他施設情報の紹介を行うなど様々な文化芸術情報を得る事ができるスペースとして整備する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報の内容により、最適な媒体・手段により、効率的な広報・宣伝活動を実施する。</li> </ul>	<p>□毎月の催し物案内発行、ホームページのリアルタイムな更新をはじめ、当事業体ならではの媒体（交通広告・広報紙等）を有効に活用しPRを行う。</p>

(4) 専門性と区民の力を統合する組織づくりについて

<p>[取組内容]</p> <p>●事業企画・施設管理・舞台技術の経験・実績豊かな職員・専門スタッフと、区民をはじめとした地域スタッフを配置し、全ての職員が適切なコスト感覚、効率的管理とホスピタリティ精神をもった運営を行う。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□以下の通り人員を配置し運営する。</p> <p>【運営スタッフ】※2交代、常時2名以上配置 館長 1名 副館長 1名 職員 5名</p> <p>【舞台技術】※利用状況により2~4名 職員 4名</p> <p>【受付スタッフ】 カルチャースタッフ 12名（地域採用）</p>
<p>●職員・スタッフの施設運営スキルアップのために研修を実施する。</p>	<p>□機材研修、個人情報保護研修、消防訓練等を実施し、運営に役立てる。</p>

4 施設の管理に関する計画

利用者が安心して利用できるよう快適な環境作りを目指し、安全性、防犯性について最大限の配慮をする。サンハートは開館から30年を迎える、設備全体が老朽化してきている。それらの状況を踏まえた上で、施設の運営に支障をきたさぬよう維持管理に努めていく。

(1) 安全で効率的な維持管理・予防保全について

<p>[業務内容]</p> <p>●安全・安心できる施設の維持</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□設備等保守管理項目を遵守し、定期的な施設点検を実施する。</p>
<p>●定期的な設備点検</p>	<p>□老朽化した建築、設備のリスクマネジメント評価を行い、修繕計画の適正化を図る。</p>
<p>●必要に応じた緊急点検</p>	<p>□月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年1回行う。</p>
<p>●施設設備の予防保全</p>	<p>□施設設備等の中長期修繕計画や修繕・改修について、早めに施設情報を提供し、関係各所に働きかけるとともに、利用受付・打ち合わせ時に利用者に備品や設備の正しい取り扱いを説明し、安全で確実な利用を促進する。</p>

(2) 快適な環境の維持管理について

<p>[取組内容]</p> <p>●安心できる環境の維持</p>	<p>[達成指標]</p> <p>以下 7 点を達成指標とする。</p> <p>①清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施する。</p> <p>②美観を維持するように取り組む。</p> <p>③環境に配慮し、廃棄物の発生抑制に努める。</p> <p>④空気環境測定 (VOC 等含む) を実施する。</p> <p>⑤社内による、業務の品質管理点検を実施し、特別清掃・日常清掃の計画を策定する。</p> <p>⑥ヨコハマ 3R 夢など市の施策や事業に協力する。</p> <p>⑦空気環境測定結果の報告書を作成する。</p>
----------------------------------	---

その他の計画

(1) 危機管理対策について

<p>[取組内容]</p> <p>●緊急時の対応</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□緊急内容別（事故、犯罪、火災、設備故障など）に連絡網の整備を行う。</p>
<p>●利用者の安全・安心を確保</p>	<p>□大規模災害等が発生した場合は、行政機関との連絡・協力を円滑に行えるよう訓練等を通じて体制を整える。</p>
<p>●防災管理</p>	<p>以下 5 点を達成指標とする。</p> <p>①平成 24 年度に作成した「帰宅困難者一時滞在施設」としての運用マニュアルに基づき訓練を実施し、緊急時に備える。</p> <p>②緊急時の連絡網を作成するとともに旭区役所へ提出する。</p> <p>③近隣在住職員をあらためて確保する。</p> <p>④事故、犯罪及び火災等を発生させない為に、職員による定期巡回を実施する。</p> <p>⑤消防計画書を作成し、自衛組織を結成することで、日常の防火・防災に努める。また、催事の際は、避難導線の確保等の指導を行うとともに、消防計画書および緊急時対応マニュアルに基づき年 2 回防火・防災訓練を実施する。</p>

## (2) 自己評価・P D C Aサイクルの活用について

[取組内容]	[達成指標]
●日報及び月報の作成・管理（業務記録の整備）	<input type="checkbox"/> 業務記録の適正な作成・保管と共に重要な件に関して随時報告をおこなう。
●業務計画書及び業務報告書の作成・管理（利用者のニーズや声を反映した業務計画の策定）	<input type="checkbox"/> P D C Aサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取組む。
●モニタリングの実施（モニタリングへの対応・体制の整備）	<input type="checkbox"/> 業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築する。
●自己評価の実施（P D C Aサイクルの導入と確実な運用）	<input type="checkbox"/> 利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取組む。

## 6 収支について

### (1) 経費削減の努力について

[取組内容]	[達成指標]
●管理運営コストの削減に努める。	<input type="checkbox"/> 無駄な光熱水費の削減と、業務効率化等による無駄なコストの削減に努める。但し、利用者の満足を阻害するようなサービス低下につながる必要コストの削減はしないようにするとともに、軽易な修繕については職員自ら行い、修繕費を有効に活用する。

### (2) 収入向上の努力について

[取組内容]	[達成指標]
●収益向上、適正な受益者負担を設定し、外部資金獲得に努める。	<input type="checkbox"/> 以下3点を達成指標とする。 ①ホール・諸室の空き状況をホームページにてリアルタイムに公開し、収益の向上を図る。 ②魅力的な事業を実施し、入場料収入を最大限に確保する。 ③エレベーター横に設置したウェルカムギャラリー（レンタルボックス）により、その他収入の確保に努める。

(3) 収支予算書

項目	予算額	備考
<b>収入</b>		
指定管理料収入	108, 279, 000	
利用料金収入	27, 867, 000	
事業収入	6, 958, 000	
その他収入	1, 222, 000	
<b>収入合計</b>	<b>144, 326, 000</b>	

<b>支出</b>		
人件費	69, 347, 000	
事務費	4, 663, 000	
事業費	9, 119, 000	
管理費	56, 573, 000	
公租公課	24, 000	
事務経費	4, 600, 000	
<b>支出合計</b>	<b>144, 326, 000</b>	
<b>収支差額</b>	<b>0</b>	

【別紙 1】

【自主事業フレーム】

1. 鑑賞事業	一流の芸術家による事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジャズシリーズ</li> <li>● 最優秀賞受賞記念コンサート</li> <li>● 気軽に寄り道コンサート</li> <li>● サンハート記念コンサート</li> </ul>
	普段着の芸術鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あさひ亭まねき寄席</li> <li>● ワンコインコンサート</li> <li>● アウトリーチ</li> </ul>
2. 機会提供事業	サンハートオリジナル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 演劇ワークショップ</li> <li>● サンハートアンサンブルオーディション</li> </ul>
	私たちのホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 読み聞かせサポーターによるおはなしかい</li> <li>● すぐすぐキッズプログラム</li> <li>● 美音俱楽部</li> <li>● サンハート運営サポートスタッフ</li> <li>● 区民企画委員</li> </ul>
	その他シーズンイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サンハートオープンデー</li> <li>● ホールでピアノを弾いてみませんか？</li> <li>● 夏休み子ども体験講座</li> <li>● ウエルカムギャラリー</li> <li>● アートマーケット</li> </ul>

## 【自主事業一覧】

(税込、単位：千円)

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込	事業費
1-1	12月	ジャズシリーズ	ホール	サンハート主催のジャズレクチャー参加者が立ち上げた「横濱 J&B オーケストラ」によるビックバンド演奏。30周年を記念し、サンハートにゆかりのある演奏者を起用する。	300人	407,000円
1-2	7月	最優秀賞受賞記念コンサート	ホール	アンサンブルオーディション最優秀賞受賞組による、良質なクラシックコンサート。今年度はソプラノとピアノのデュオによる演奏をお届けする。	300人	235,000円
1-3	5月	気軽に寄り道コンサート	音楽ホール	仕事帰りに立ち寄れる19時以降に開催する大人のためのコンサート。	100人	141,000円
1-4	計3回 (6・9・3月)	サンハート記念コンサート	ホール	30周年を記念し、今まで取り組んでいないジャンルのコンサートを企画。30周年の締めくくりは旭区出身の箏奏者による邦楽コンサートを予定。	900人	663,000円
2-1	計3回 (5・8・1月)	あさひ亭 まねき寄席	ホール	著名な真打ちや若手落語家による公演。今年度は70回目の記念回をオープンデーにて開催し、動員を図る。	900人	1,288,000円
2-2	計6回 (9・12・3月、1日2回公演)	ワンコインコンサート	ホール	若手音楽家によるクラシックアンサンブルのコンサート。子供向けと大人向けの2公演に分け、誰もが気軽に音楽に触れられる機会を提供する。	1,800人	465,000円
2-3	計10回 (学校4回 福祉3回 その他3回)	アウトリーチ	旭区内 各所	小学校や福祉施設等へ、出前コンサートやワークショップを届ける。オーディション受賞者への演奏機会提供の場も兼ねる。	500人	776,000円

3-1	計 12 回 9・10・11 月（プレワ ークショッ プのみ 8 月）	演劇 ワークショップ	ホール カルチャー 工房	講師に文学座の松井工 を迎え、演劇を通じた コミュニケーションの スキルアップを目指し たワークショップ。今 年度は新しく脚本の一 般公募を試みる。	300 人 (40 人)	1, 193, 000 円
3-2	10 月	サンハートアン サンブルオーデ ィション／レジ デントアーティ スト	ホール	地域のアマチュア音楽 家や近隣の音大生を対 象に、器楽を中心とし たアンサンブルのオー ディション。入賞者は、 主催事業での出演機会 提供の他、アウトリ－ チ事業への参加アーテ ィストとして、地域へ 積極的に広報を行う。	300 人 (20 組)	407, 000 円
4-1	通年 (月 1 回)	読み聞かせサポ ーターによる「お はなし会」	ホール ロビー	未就園児とその保護者 を対象とした絵本の読 み聞かせ会。サンハー トの読み聞かせ講座を 修了した「読み聞かせ サポーター」が企画運 営を担当する。館外か らの依頼も積極的に引 き受け、絵本の読み聞 かせを通じた地域貢献 を目指す。	480 人 (20 組)	84, 000 円
4-2	通年	すくすくキッズ プログラム	ホール カルチャー 工房	乳幼児を対象に、初め て音や絵と触れ合う機 会を提供するとともに、 子育ての合間に子 供連れで参加可能な母 親向けのイベントを開 催する。	300 人	276, 000 円
4-3	通年 (月 1 回)	美音倶楽部	会議室	サンハート独自の真空 管アンプを使った会員 制のレコード鑑賞会を 行う。	20 人	24, 000 円
4-4	通年	運営サポーター	ホール		1000 人	0 円
4-5	通年	区民企画委員	ホール 会議室	区民の目線を通してサ ンハートならではの企 画をプロデュース。「バ レンタインコンサー ト」と「名画座」の企 画運営を行う。	600 人 (5 名)	1, 459, 000 円
5-1	8 月	オープンデー	全施設	全館で無料や低価格の	1000 人	464, 000 円

				イベント、さらに市民参加型の催しを行い、普段サンハートを利用されない方や家族連れが気軽に施設に立ち寄っていただくきっかけを提供する。		
5-2	通年	ホールでピアノを弾いてみませんか？	ホール 音楽ホール	サンハートホールや音楽ホールのフルコンサートグランドピアノを1時間単位で試演できる企画。	360人	0円
5-3	7・8月	夏休み子ども体験講座（ゴスペル）	ホール	夏休みの数日間、サンハートに集まった小中学生で一致団結し、集大成となる発表会を実施する。	200人 (50人)	212,000円
5-4	通年	ウェルカムギャラリー	エレベーター横	エレベーター横にある窓際にレンタルスペースを設置し、宣伝ツールとしても利用できる自分だけの小さなギャラリーを開催。	48人	48,000円
5-5	7・8・11月	アートマーケット	アートギャラリー	出店者による手作りアート作品を販売するイベント。	100人	125,000円
6-1	通年	サンハート友の会		固定顧客層への優遇体制を整え、顧客満足度向上を図る。	100人	0円
6-2	通年	備品購入 郵送費		チラシ用のカラーペーパー購入費や、他館へのチラシ発送代など。		492,000円
6-3	通年	取材 打合せ諸経費		その他諸経費		360,000円

合計： 9,119,000円

※入場見込数について

基本的には来場者数を記載しているが、ワークショップ型のイベントなど、観客以外にイベント参加者が見込まれる場合は、参加見込数を括弧内に記入し、一般観客数を入場見込数として表示している。

※事業費について

全て税込価格で表示している。

## ■ 旭区民文化センター・サンハート 令和2年度 資金計画書

単位:円

収入の部

科 目	4月	5月	6月	第一Q計	7月	8月	9月	第二Q計	上期計	10月	11月	12月	第三Q計	1月	2月	3月	第四Q計	下期計	合計
指定管理料	8,818,000	8,921,000	9,133,000	26,872,000	8,571,000	9,957,000	9,035,000	27,563,000	54,435,000	9,362,000	8,689,000	8,788,000	26,839,000	9,042,000	9,350,000	8,613,000	27,005,000	53,844,000	108,279,000
利用料金収入	2,417,000	2,378,000	2,632,000	7,427,000	2,783,000	2,166,000	2,370,000	7,319,000	14,746,000	2,593,000	2,704,000	2,215,000	7,512,000	1,980,000	1,722,000	1,907,000	5,609,000	13,121,000	27,867,000
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	482,000	482,000	482,000	
自主事業収入	122,000	479,000	387,000	988,000	319,000	943,000	361,000	1,623,000	2,611,000	310,000	1,318,000	651,000	2,279,000	556,000	386,000	644,000	1,586,000	3,865,000	6,476,000
雑入	288,000	91,000	60,000	439,000	108,000	56,000	128,000	292,000	731,000	76,000	96,000	90,000	262,000	50,000	88,000	91,000	229,000	491,000	1,222,000
印刷代	19,000	11,000	16,000	46,000	13,000	9,000	14,000	36,000	82,000	18,000	17,000	12,000	47,000	12,000	11,000	11,000	34,000	81,000	163,000
自動販売機手数料	33,000	40,000	35,000	108,000	34,000	42,000	110,000	218,000	36,000	39,000	52,000	127,000	31,000	28,000	29,000	88,000	215,000	433,000	
駐車場利用料収入				0				0	0				0			0	0	0	
その他( )	236,000	40,000	9,000	285,000	61,000	13,000	72,000	146,000	431,000	22,000	40,000	26,000	88,000	7,000	49,000	51,000	107,000	195,000	626,000
収入合計	11,645,000	11,869,000	12,212,000	35,726,000	11,781,000	13,122,000	11,894,000	36,797,000	72,523,000	12,341,000	12,807,000	11,744,000	36,892,000	11,628,000	11,546,000	11,737,000	34,911,000	71,803,000	144,326,000

支出の部

科 目	4月	5月	6月	第一Q計	7月	8月	9月	第二Q計	上期計	10月	11月	12月	第三Q計	1月	2月	3月	第四Q計	下期計	合計
人件費	6,042,000	5,517,000	5,545,000	17,104,000	5,749,000	5,866,000	5,761,000	17,376,000	34,480,000	6,177,000	5,736,000	5,718,000	17,631,000	5,677,000	5,779,000	5,780,000	17,236,000	34,867,000	69,347,000
給与・賃金	6,042,000	5,517,000	5,545,000	17,104,000	5,749,000	5,866,000	5,761,000	17,376,000	34,480,000	6,177,000	5,736,000	5,718,000	17,631,000	5,677,000	5,779,000	5,780,000	17,236,000	34,867,000	69,347,000
社会保険料																		0	
通勤手当																		0	
健康診断費																		0	
勤労者福祉共済掛金																		0	
退職給付引当金繰入額																		0	
事務費	694,000	345,000	341,000	1,380,000	495,000	339,000	341,000	1,175,000	2,555,000	335,000	338,000	337,000	1,010,000	422,000	337,000	339,000	1,098,000	2,108,000	4,663,000
旅費	4,000	4,000	4,000	12,000	4,000	4,000	4,000	12,000	24,000	4,000	4,000	4,000	12,000	4,000	4,000	4,000	12,000	24,000	48,000
消耗品費	25,000	25,000	25,000	75,000	25,000	25,000	25,000	75,000	150,000	25,000	25,000	25,000	75,000	25,000	25,000	25,000	75,000	150,000	300,000
会議賄い費	3,000	0	1,000	4,000	0	0	1,000	1,000	5,000	0	3,000	1,000	4,000	70,000	2,000	3,000	75,000	79,000	84,000
印刷製本費	69,000	69,000	69,000	207,000	86,000	69,000	69,000	224,000	431,000	68,000	68,000	204,000	85,000	68,000	68,000	221,000	425,000	856,000	
通信費	57,000	57,000	57,000	171,000	57,000	57,000	57,000	171,000	342,000	56,000	56,000	168,000	56,000	56,000	56,000	168,000	336,000	678,000	
使用料及び賃借料	168,000	0	0	168,000	0	0	0	0	168,000	0	0	0	0	0	0	0	0	168,000	
横浜市への支払分	168,000	0	0	168,000	0	0	0	0	168,000	0	0	0	0	0	0	0	0	168,000	
その他				0				0										0	
備品購入費	93,000	93,000	93,000	279,000	93,000	93,000	93,000	279,000	558,000	91,000	91,000	92,000	274,000	92,000	92,000	92,000	276,000	550,000	1,108,000
図書購入費	22,000	22,000	22,000	66,000	22,000	22,000	22,000	66,000	132,000	22,000	22,000	21,000	65,000	21,000	21,000	21,000	63,000	128,000	260,000
施設賠償責任保険	100,000	0	0	100,000	139,000	0	0	139,000	239,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	239,000
職員等研修費	7,000	7,000	7,000	21,000	7,000	7,000	7,000	21,000	42,000	7,000	7,000	7,000	21,000	7,000	7,000	7,000	21,000	42,000	84,000
振込手数料	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000	1,000	2,000	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000	1,000	2,000	4,000
リース料	95,000	62,000	62,000	219,000	62,000	62,000	62,000	186,000	405,000	62,000	62,000	62,000	186,000	62,000	62,000	62,000	186,000	372,000	777,000
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域協力費	51,000	6,000	0	57,000	0	0	0	0	57,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57,000
事業費	113,000	610,000	584,000	1,307,000</															